

「中秋の名月」

9月21日は、中秋の名月がみられる日です。中秋の名月は太陰太陽暦の8月15日の夜に見える月のことというそうです。また、中秋の名月は日本の農事ごよみとの関連で「芋名月」と呼ばれます。

今年の中秋の名月は8年ぶりの満月で、ここ猪苗代町でもお天気に恵まれ、午後6時58分、美しい満月が姿を現しました。

参考までに、太陰太陽暦の9月18日の月を「十三夜」と呼び、我が国ではその夜にお月見をする習慣があります。この月を「豆名月」または「栗名月」などと呼ばれます。ことしは10月18日だそうです。昨日は、お天気に恵まれ、くっきりと満月が観察できましたので、当交流の家の天体望遠鏡を使って、記録画像を残しました。その一部はフェースブックに載せますのでどうぞご覧ください。

当交流の家のいたしましては、天体望遠鏡を使って天体観測の機会を増やそうと考えています。お近くの方で、観測を希望される方は、前日までにお電話でご連絡くだされば、天体望遠鏡をセットし、どなたでも観測ができるようにしてまいりたいと思っています。

新型コロナウイルス感染拡大を受け、希望者の時間帯を設定し、3密を避けて観測できるようにしてまいりたいと考えています。

先日、猪苗代町立長瀬小学校の5・6年生と保護者の皆さんが、天体観察にいらしてくださいました。子供たちからは、「お、すげえ！！」「はつきり見える！」などと感嘆の声が聞かれました。お母さん方からは、「交流の家にはこんな素晴らしい望遠鏡があったのですね。」「お月様がはつきり見えて勉強になります。」などという声が聞かれました。

天気が良ければ、月の観察だけでなく、火星や金星などの観察できますし、木星の横縞模様や土星のリングなども観察できますよ。

皆さん、どうぞお気軽にお越しください。民様のお越しを心よりお待ち申し上げます。

(文責 所長 福 士 寛 樹)